

地震と竜巻

これは私がアメリカのウィスコンシンに住んでいた時の話です。私は2週間ほど東京に帰りました。ある日、両親の家に母と叔母と私の3人でいたとき、地震が起きました。始めは気が付かないほどの小さな揺れでした。叔母が最初に気が付き、「あ、地震だ」と言いました。その数秒後、私も揺れを感じました。揺れはだんだん大きくなり、家具がガタガタと揺れ始めました。叔母はなぜかテレビを押さえました。私は「テーブルの下に入って！ テレビなんかどうでもいい！」と言いました。その間も揺れはだんだん大きくなっていきます。私たち三人はテーブルの下にいました。その時、私は「地球が割れて、もう終わりだ！」と思いました。それほどすごい揺れでした。母が大声で「外に出て！」と叫びました。両親の家は古いので、壊れるかもしれないと思ったそうです。私はソファのクッションをつかみ、頭を守って、外に出ました。歩けないほどの揺れでした。道には店や家から出てきた人がたくさんいました。中には怖さで歩けなくなっている人もいました。幸い隣は屋外駐車場で、周りから何かが落ちてくる危険がないのでそこに避難しました。揺れは4~5分続きましたが、私には永遠に感じられました。

両親の家は無事でした。家の中に入ってニュースをつけました。そして、電車が止まっていること、地震が発生した場所に近い東北地方では恐ろしい大津波

お起こっていることをしりました。

おお じしん あと 大きな地震の後だったので、そのご じかん かい 時間も 1 時間に 1 回ぐらいおお じしん お 大きな地震が起こりました。お ば じぶん いえ かえ 叔母はもちろん自分の家に帰れず、りょうしん いえ と 両親の家に泊まりました。すぐにそと に 逃げられるよう、リビングルームにふとん を 3 つ敷きましたが、こわ ねむ 怖くて眠ることはできませんでした。じしん し 地震を知らせるけいほう き 警報を聞くためテレビはつけたままにしておきました。いつでもそと に 逃げられるようにパジャマはき 着ないでふく き 服を着ていました。

いつか ご わたし その5日後、私はアメリカにもど 戻らなくてはいけませんでした。かぞく しんばい 家族が心配でとうきょう のこ おも 東京に残ろうと思っていました。まだまだじしん つづ 地震が続いていたからです。でも、ひとり あんぜん ところ い 一人でも安全な所へ行ってくれる方が、わたし しんばい すく 私の心配が少なくなる」というははおや 母親の言葉でアメリカにもど 戻る決心をしました。そのとき りょうしん となり いえ おとうと か の時、両親の隣の家には、ぞく す 弟の家族が住んでいて、ちい こども にん 小さな子供が4人いました。ちち にゅういん 父は入院をしていたし、はは は 母にはしんばい 心配する人が多かったのです。かぞく とうきょう き 家族をおいて東京を去るのはとてもつらかったです。

もど ウィスコンシンに戻ってからは、にち なんと はは でんわ はな 1日に何度も母と電話で話しました。「きょう も ゆれた」「さっきもゆれた」というはなし 話ばかりでした。



<https://www.irasutoya.com/>

ウィスコンシンに戻って5日目、同じ町に住む友達から電話がありました。
「今晚、竜巻があるかもしれないから、注意しておいたほうがいい」と言われ
ました。私は水やスナック、携帯電話、財布などをリュックにつめ、避難先で、
物が飛んできて怪我をしないようにかぶるため毛布も用意しておきました。
でも、外はとてもいい天気で静かだったので大丈夫だろうと思っていました。
夜、テレビをつけていたら竜巻警報が鳴り、避難指示がでました。私はリュ
ックを担ぎ、毛布を抱えてアパートの地下に避難しました。地下にはアパートの
他の住人二人もいました。外では風がゴゴーとおそろしい音を立てていまし
た。雷もビカビカと何度も光りました。1時間半ぐらい経つと警報が消えたの
で、部屋に戻りました。次の日、アパートから数マイルぐらいのところを竜巻が
通り、建物が壊れたということを知りました。
つまり、私は2週間という短い間に、大地震と竜巻を経験したのです。も
う、こんな経験は2度としたくありません。

(1471^じ字)

(2024.2 Written by Mami TANAKA)



この作品はクリエイティブ・コモンズ^{さくひん} 表示^{ひょうじ} - 非営利^{ひえいり} - 継承^{けいしょう} 4.0 国際^{こくさい} ライセンスの下に提供^{もと}されています。この作品^{さくひん}を利用する場合は、^{りよう}「たどくのひろば」^{ぼあい}を^{しゅってん}出典として示してください。

例^{れい} 出典^{しゅってん}: 「たどくのひろば」 (<https://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.